

## 目次

[今週号は 2021 年 9 月 10 日時点の情報を基に作成しています]

投資コラム	: 最近の経済指標	.....	1
日本株銘柄情報	: NEC ネットズエスアイ (1973)	.....	2
日本株銘柄情報	: NITTOKU (6145)	.....	3

## 最近の経済指標

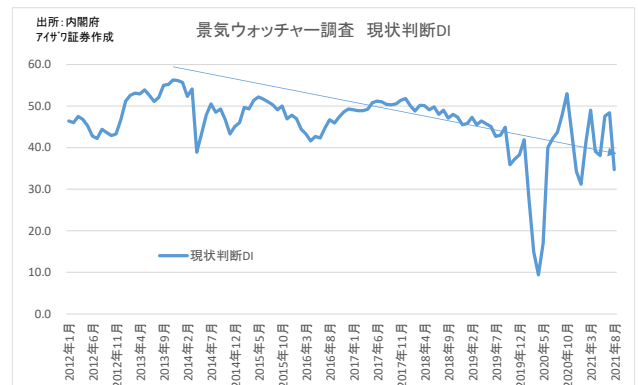
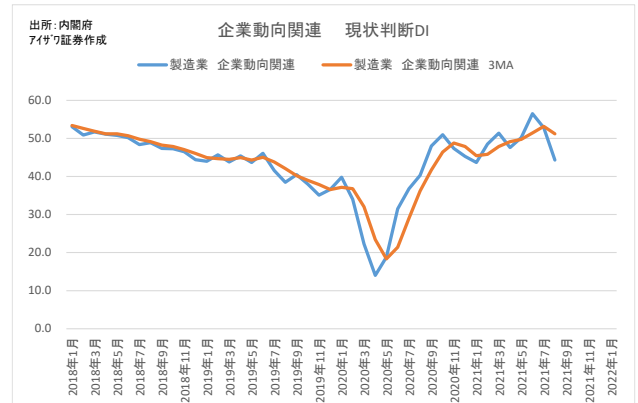
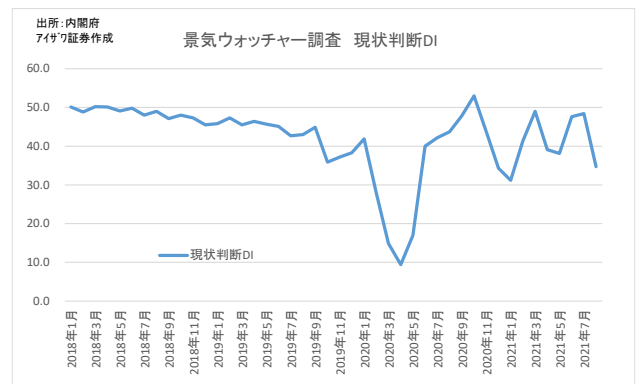
笹木 義次

2021 年 8 月の景気ウォッチャー調査の現状判断 DI が発表されました。現状判断 DI は供給側から見た景況感を表しています。2021 年 8 月の現状判断 DI は 34.7 となり前月差で 13.7 ポイント低下し、景況感は悪化しました。今回の悪化で改善基調が崩れるかもしれません。

飲食関連が 21.1 となり前月差で 19.3 ポイントの悪化となった事で、家計動向関連が 31.3 と前月差で 15.9 ポイントの悪化となりました。全体の改善基調の変調に影響を与えています。

これまで比較的堅調だった企業動向関連の製造業の現状判断 DI も 44.3 となり、前月差で 8.5 ポイント低下しました。企業動向関連の製造業が現状判断 DI の改善基調を支えてきただけに、先行き注視が必要です。

月ベースの短期的な変動ではなく、現状判断 DI をやや長期で見ると緩やかな下降基調を示している事がわかります。短期的な動向だけではなく、中期的な基調も見ていく必要があります。



# NEC ネットエスアイ (1973)

笹木 義次

## 株価指標

株価 (2021/9/10) 2,210.0 円  
 売買単位 100株  
 市場 東証1部  
 時価総額 3,300 億円

## 価値提供の仕組みを変化

NEC ネットエスアイは、企業、通信事業者、官公庁、社会インフラ事業者に対して、情報・通信システムの構築や運用・保守サービスを提供しています。NEC ネットエスアイでは、顧客企業に対して、システム構築など製品 SI による価値提供に加えて、ソリューションサービスによる価値提供を行うなど、価値提供の仕組みを変化させています。筆者は NEC ネットエスアイが価値提供の仕組みを変化させている点を前向きに評価しています。サービス売上高の構成比の高まりにより、利益率が改善しています。利益率の改善は企業価値の向上の要因になるからです。

## 受注高ほぼ前年並み

NEC ネットエスアイの 2022 年 3 月期第 1 四半期の受注高は 843 億 59 百万円と前年同期比で 0.8% の減少とほぼ前年並みとなりました。2022 年 3 月期第 1 四半期には前年同期にあった GIGA スクール案件や海底地震計システムが無くなりましたが、通信事業者向けに 5G 関連の受注や空港や道路関係など国内の施工分野の受注を獲得した事から、ほぼ前年並みとなりました。2022 年 3 月期第 1 四半期の受注高がほぼ前年並みとなった事は前向きに評価できると見えています。

## 営業利益率が改善

NEC ネットエスアイの 2022 年 3 月期第 1 四

## <業績の推移>

決算期	売上	営業利益	経常利益	純利益	1株利益	1株配当
2020/3	303,616	16,245	15,938	9,422	63.3	27.3
2021/3	339,109	25,563	25,493	15,745	105.7	35.0
2022/3計	320,000	26,000	26,000	16,000	107.4	38.0

単位: 百万円 (1株利益、1株配当は円) 計画は会社計画によります。  
 注意: 2020年6月1日付で1株につき3株の株式分割を行いました。1株利益、1株配当は過去遡及しています。

## <投資指標>

連結	
今期予想PER	20.5 倍
PBR	2.68 倍
予想配当利回り	1.71 %

半期の営業利益は 29 億 50 百万円と前年同期比で 2.9 倍の増益となりました。営業利益率の改善で、営業利益は増益となりました。

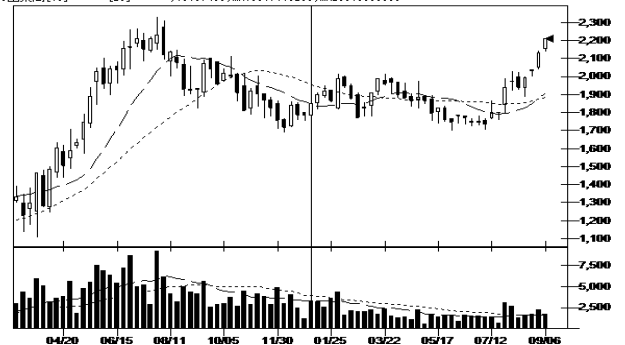
営業利益率は 4.4% となり前年同期の 1.5% と比較すると 2.9% ポイントの改善となりました。利益率の高いサービス売上高の構成比が高まった事などが営業利益率の改善の要因です。これまで行ってきた利益率改善の取り組みの成果が出たと見えています。これも前向きに評価できると見えています。

## 通期は据置き

NEC ネットエスアイでは、2022 年 3 月期上半期の業績を上方修正しました。ただし、通期業績計画は据置いています。下半期の事業環境には不確実性があるからとしています。2022 年 3 月期の 1 株当り配当金は 38 円を予定しています。もし、実現すると 15 期連続増配となります。筆者は NEC ネットエスアイの 2022 年 3 月期の業績は、売上高が 3220 億円と前年比で 5.0% の減収を、営業利益は 277 億円と前年比で 8.3% の増益になる事を予測しています。

519730 NEC 東証 1部 20/3/2~21/3/6

目付: 21/09/10 時: 2170 高: 2210 安: 2170 現値: 2210 +39 出来高: 351.5  
 W: 10/25 単: 単純移動平均 [18] ..... [26] ..... MA13: 1908.85, MA26: 1885.96  
 SI: 出来高 [18] ..... [26] ..... V: 1674.9, MA13: 1711.200, MA26: 1688.850



(C) QUICK Corp. All rights reserved.

出所: AstraManager よりアイザワ証券作成

本資料のご利用にあたり、お客様にご確認いただきたい事項を、本資料の最終ページに記載させていただきました。ご確認の程、よろしくお願いいたします。

# NITTOKU (6145)

笹木 義次

## 株価指標

株価 (2021/9/10) 4,360.0 円  
 売買単位 100株  
 市場 JASDAQ  
 時価総額 789 億円

## 事業内容

NITTOKU は、電子部品関連のコイルや車載用モータなどの生産設備を提供している FA メーカーです。FA 設備として自動化された一貫生産ラインとして提供できる事が特徴になっています。

## 受注が回復

NITTOKU の 2022 年 3 月期第 1 四半期の受注高(単体の機械受注高、以下同様)が 52 億 14 百万円と前年同期比で 22.9%の増加となりました。四半期ベースでは、2020 年 3 月期第 4 四半期の 24 億 46 百万円を底に、改善傾向にある事が確認出来たと見えています。

受注高は業績の先行指標で、NITTOKU の業績を見る上で重要な指標です。その受注高が改善している訳ですから、NITTOKU の業績にとっては前向きに評価する要因になっています。単体の業種別では、モビリティと情報通信が増加しました。これまで保留されていた案件が受注に結び付いた事も受注高は増加に寄与したと推察しています。特に、モビリティでは、EV 駆動用モータの生産ラインの受注を獲得している模様です。

## 営業利益は増益に

NITTOKU の 2022 年 3 月期第 1 四半期の営業利益は 5 億 61 百万円と前年同期比で 5.7 倍の増益となりました。売上高は 55 億 31 百万円と前年同期比で 37.5%の増収となりまし

## <業績の推移>

決算期	売上	営業利益	経常利益	純利益	1株利益	1株配当
2020/3	27,492	2,484	2,668	2,120	117.4	30.0
2021/3	22,046	1,356	1,348	1,247	69.1	30.0
2022/3計	26,800	2,600	2,600	1,850	102.4	40.0

単位: 百万円 (1株利益、1株配当は円) 計画は会社計画によります。

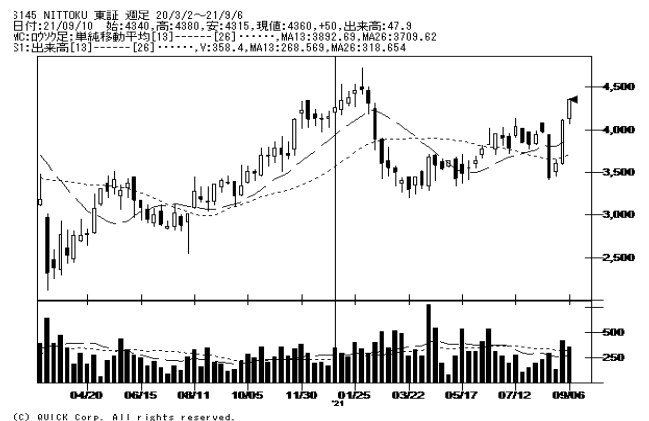
## <投資指標>

指標	数値
今期予想PER	42.5 倍
PBR	2.53 倍
予想配当利回り	0.91 %

た。モビリティの売上高が増収となり、全体の増収に寄与しました。モビリティでは、EPS、ポンプ、ブレーキ向けのモータの生産ラインが伸長しました。開発要素の少ない既存の案件が売上計上された事から、売上総利益率は改善しました。

## 差別化戦略を評価

NITTOKU では、2022 年 3 月期の業績は、売上高が 268 億円と前年比で 21.6%の増収を、営業利益は 26 億円と前年比で 91.7%の増益を計画しています。筆者は NITTOKU の 2022 年 3 月期の業績は、売上高が 273 億円と前年比で 23.8%の増収を、営業利益は 28 億円と前年比で 2.1 倍の増益になると予測しています。設備投資需要が回復する初年度は回復ペースがやや加速する傾向にあると見ているからです。事業領域や外部資源の有効活用で差別化をはかる事で競争優位性を有している事を筆者は評価しています。



出所: AstraManager よりアイザワ証券作成

本資料のご利用にあたり、お客様にご確認いただきたい事項を、本資料の最終ページに記載させていただきました。ご確認の程、よろしくお願いいたします。

## 金融商品取引法に基づく表示事項

### ■本資料をお客様にご提供する金融商品取引業者名等

#### 2021年9月30日までの商号等

商号等：藍澤証券株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第6号

加入協会：日本証券業協会、一般社団法人 日本投資顧問業協会

当社が契約する特定第一種金融商品取引業務に係る指定紛争解決機関：

特定非営利活動法人 証券・金融商品あっせん相談センター（略称：FINMAC）

#### 2021年10月1日以降の商号等

商号等：アイザワ証券株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第3283号

### 株式の主なリスク

株式は株価の変動等により、損失が生じるおそれがあります。お取引の際は、契約締結前交付書面をよくお読み下さい。

### お客様にご負担いただく手数料等について

国内株式は、取引口座に応じて以下の委託手数料（税込）をいただきます。

対面口座：約定代金に対し、最大 1.265%（最大 149,875 円、2,750 円に満たない場合は 2,750 円）

インターネット口座「ブルートレード」：インターネット発注 最大 1,650 円

コールセンター発注 約定代金が 55 万円以下の場合 1,650 円、

約定代金が 55 万円超 3,000 万円以下の場合 3,300 円

コンサルネット発注 約定代金に対し、最大 1.265%（最大 149,875 円、2,750 円に満たない場合は 2,750 円）

### 免責事項

本資料は証券投資の参考となる情報の提供を目的としたものです。投資に関する最終決定は、お客様ご自身による判断でお決めください。本資料は企業取材等に基づき作成していますが、その正確性・完全性を全面的に保証するものではありません。結論は作成時点での執筆者による予測・判断の集約であり、その後の状況変化に応じて予告なく変更することがあります。執筆担当者または弊社と本レポートの対象企業との間には、重大な利益相反の関係はありません。このレポートの権利は弊社に帰属しており、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。

LINE公式アカウント  
はじめました！

ベトナムを中心としたアジア情報  
をお届けします。

[友だち追加はこちらから！](#)



ID : @aizawa